

目的

訪日外国人を含む誰もがストレスを感じることなく円滑に移動・活動できるストレスフリー社会を実現

課題

- 屋内で人（スマートフォン等）の位置を測位する環境がない
- 測位できた結果を表示する屋内の電子地図がない（限定的に整備されており、面的サービスが提供できていない）

概要

屋内外シームレスに高精度な測位環境を活用した様々なサービスが実現できる環境づくりに向けて、屋内の電子地図や測位環境等の空間情報インフラの整備を推進し、多様な民間サービスの創出を促進

屋外ではGPSを活用した位置情報サービスが普及

- GPS測位を利用し、現在地の測定ができる
- 地理院地図を基に作成された地図等が一般に普及
- 地図アプリ等が一般的なサービスとして普及

屋外の場合イメージ



屋内空間では？

- GPSの電波が届かないため、現在地の測定が困難
- 統一された仕様の電子地図がない

屋内の場合イメージ



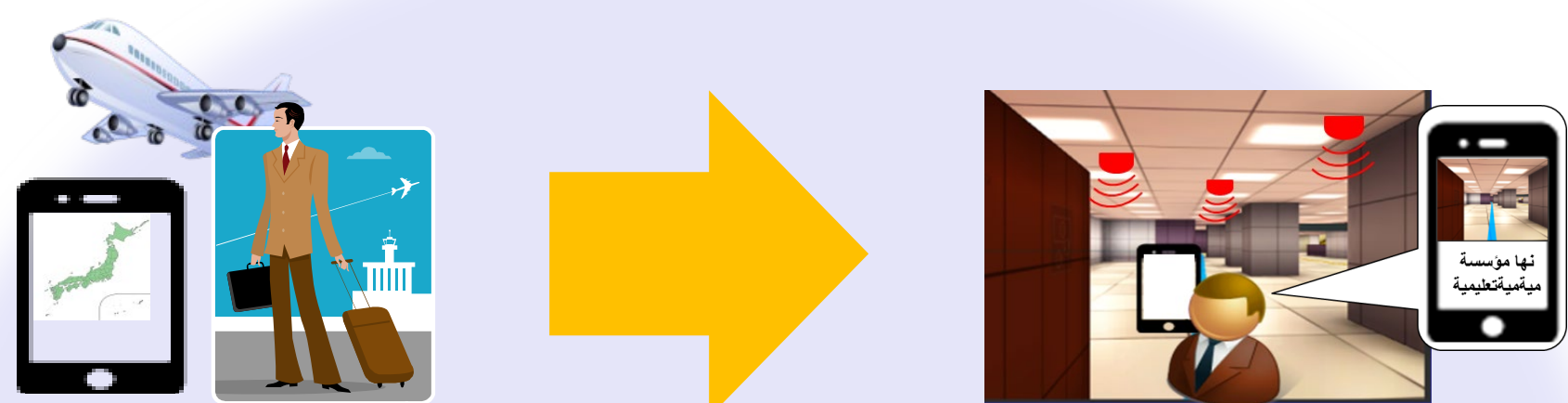
屋内位置情報の活用により見込まれるサービスの例

「移動」分野

屋内でも、現在位置や目的地までの経路などの情報が手に入り、シームレスに移動可能となる

空港

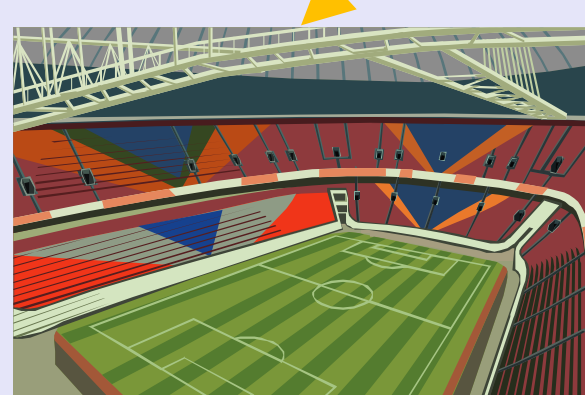
主要駅



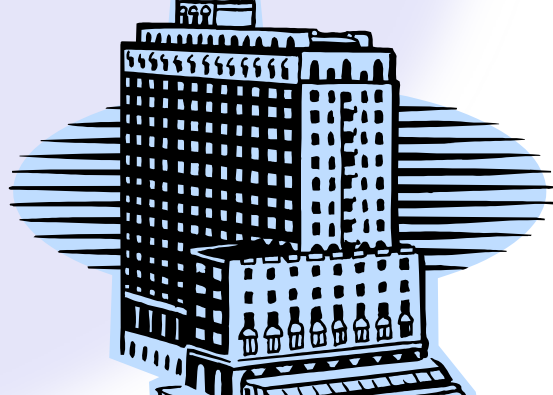
屋内外目的地へシームレスに移動



観光地等



競技会場



宿泊地

「防災」分野

災害発生時の情報発信や、現在位置に応じた適切な避難場所への避難誘導ができるようになる

①○○帰宅困難者一時受入施設
現在地より○○m

②××帰宅困難者一時受入施設
現在地より○○m

③△△帰宅困難者一時受入施設
現在地より○○m

避難施設の混雑状況等の情報を提供

